

平成27年度 学校評価に係る学校関係者評価書

学校名 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

1 本年度の重点目標

2 本年度の経営方針

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおり、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

- (1) 創作活動をとおりて学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、伸ばし、確かな学力を育成する。
- (2) 他を思い理解し、共に学び感動があふれる学校生活をとおりて、豊かな人間性を育成する。
- (3) 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおりた質の高い教育活動を推進する。
- (4) 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、地域に根差しかれた学校づくりを推進する。

学校関係者評価委員会  
学校評議員

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校経営	(1) 創造力の育成と人間力を高める教育を実践し、夢を語り感動があふれる学校づくりを推進できたか。	B	B	・工芸科の研修を充実させる。 ・教育活動の内容を精査し、教育効果が得られる取組を確立する。	A	A
	(2) 魅力ある教育活動の取組（美術工芸教育、高大連携教育、国際理解教育、地域連携教育等）によって、教育の質的向上が図られたか。	B	B			
評価者の意見等						
学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導によって、基礎的基本的な学力の定着や向上が図られたか。	B	B	・本校に必要な基礎的な学力を職員間で共有する。 ・寮での学習時間を充実させる。	A	A
	(2) 多様な生徒に対応する教材開発や指導方法・評価方法の工夫改善によって、学ぶ意欲を喚起して能力を伸ばせたか。	B	B			
	(3) 学習活動、特別活動、総合的な学習の時間の学びによって、これからの時代に求められる力が育っているか。	B	B			
	(4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性を育成できたか。	B	C			
評価者の意見等 調べる学習などは、北大研究林でも大いに協力できると思います。						
生徒指導	(1) 教職員の共通理解と実践によって、基本的な生活習慣の定着が図られたか。	C	C	・共通理解と情報の共有化を図る。 ・個々に応じた教育相談を定着させる。	A	A
	(2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成できたか。	B	B			
	(3) 教育相談活動を充実して多面的に生徒を理解し、いじめ等を含めた問題の早期発見・対応を実践できたか。	B	B			
評価者の意見等						
進路指導	(1) 進路意識を高めながらキャリア発達の促進を目指し、自己実現に向けて努力する態度を育成できたか。	B	B	・生徒一人一人に対応したきめ細かい進路指導を推進する。	A	A
	(2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成できたか。	B	B			
	(3) 情報収集と情報発信を活発に行い個に応じた進路指導を充実して、進路実現を達成できたか。	B	B			
評価者の意見等						
健康安全指導	(1) 保健教育を充実させ、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命の大切さを知り、主体的に健康安全に努める姿勢を育成できたか。	B	B	・教室の清掃を徹底する。	A	A
	(2) 校内外の清掃美化や施設の保全、環境教育をとおりて、快適な教育環境づくりを推進できたか。	B	B			
	(3) 教育活動全体をとおりて、安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導できたか。	B	B			
評価者の意見等 教室の清掃の外に改善すべきはないのか。						
組織運営	(1) 日常的組織的な連携が緊密化し、協働体制を確立できたか。	C	C	・教員間の協働体制を確立させる。 ・危機管理について、要項等による全体への指導統一や問題点の改善を行う。	A	A
	(2) 学校課題の明確化・共有化を行い、前例踏襲に陥らずに工夫改善を図りながら各取組が進んだか。	C	C			
	(3) 危機管理意識が醸成されたか。	C	C			
評価者の意見等 危機管理に関することは、村と協力して考えるべき問題だと思います。						

研修	(1) 専門性と資質能力の向上のための研修活動を充実させ、授業改善や実践力が向上したか。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化により研修時間を確保する。</li> <li>・長期休業を利用しての研修実施、研修会の参加を推進する。</li> <li>・工芸教育の質や内容の維持を図る。</li> </ul>	B	A
	(2) 服務規律保持・倫理観について、意識は向上したか。	C	C			
	(3) 個々の教員のスキルは向上したか。	C	C			
評価者の意見等	歯がゆさもあつての低評価のように感じます。校長先生、教頭先生の尽力に期待しております。					
保護者、地域住民等との連携	(1) 保護者や地域に対して本校の取り組みを十分に情報発信することができたか。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、村、学校、教育委員会との連絡体制を構築する。</li> <li>・情報発信によるイメージ改革を推進する。</li> </ul>	A	A
	(2) 保護者や地域からの意見を聞き、積極的に学校改善に役立てることができたか。	B	B			
	(3) 保護者との連携を図りながら、充実したPTA活動が開かれたか。	B	B			
評価者の意見等						

#### 4 自己評価における特記事項（総合的な改善方針）

- ・村の総合戦略を推進するにあたり、学校と村との十分な意見交換の場を設ける。
- ・教員の危機管理意識が課題である。
- ・教科の研究会参加や日常の他教科の授業参観等を意識的に行い、個々の教員の資質能力と授業力の向上を図る。
- ・一部の教員に過重な仕事や負担があるように見える。業務内容を精査し、効率化を図る。
- ・教員間の情報共有と協働体制の確立を図る。
- ・校務運営の改善による、教員のチーム力の向上を図る。
- ・行事等を含めた教員、生徒のスケジュール管理が重要である。

#### 5 学校関係者評価における特記事項

- ・生徒、保護者ともに学校に対する評価が高く良いと思う。
- ・たくさんの生徒が活躍していることは心強いが、思うように成果が上らない生徒もいる。全人的な教育が高校教育だと思うので、全ての生徒を暖かく見守って欲しい。
- ・今年度、研究林の木を使うという試みがあり、地域貢献、地域教育としても大変ありがたい。来年度も検討して欲しい。
- ・年々進学希望者が増加傾向にある中でより高い学力が必要とされる場合、個人または小グループに対して学習指導を行うことが必要であろう。しかし、組織運営や研修の面で様々な課題があると思われる。
- ・英語検定でレベルの高い級を取得したことは素晴らしい。更に多くの生徒の取得を期待する。
- ・生徒と先生の信頼関係が良好であることが大切。生徒一人一人の“全体”を知ることも必要だと考える。
- ・実質的全寮制、道内唯一の工芸科高校としての特殊性から、生徒へのきめ細かな対応が認められる。しかし、教員の研修が一層必要であると考えられ、そのための時間確保と負担編重や過重負担の改善へのさらなる努力が求められる。
- ・在学時の教育と卒業後の進路指導に成果が出ており、それが本校の特性だと考えると、全体的にもう少し評価は高いと思う。今後もバランスの取れた取組に磨きをかければ、更に成果が期待でき、目標とするゴールに近づくことになる。
- ・「研修」の評価項目についての評価は、もう少し高くても良いのではないか。